

令和7年度 第3回ゼロカーボン研究会 事後調査報告

1. 調査概要

1.1. 目的

ゼロカーボン研究会に参加する自治体及び事業者等の研究会へのニーズを調査・分析し、岡山連携中枢都市圏、周辺自治体、事業者及び大学等と「ゼロカーボン社会」実現へ向けた“実現可能な事業創出”につながる研究会及び分科会を開催することを目的とする。

1.2. 実施日

2025年11月4日(火) 研究会終了後

1.3. 調査対象

令和7年度 第3回ゼロカーボン研究会の参加者 101名を対象にアンケート調査を行った。

1.4. 調査方法

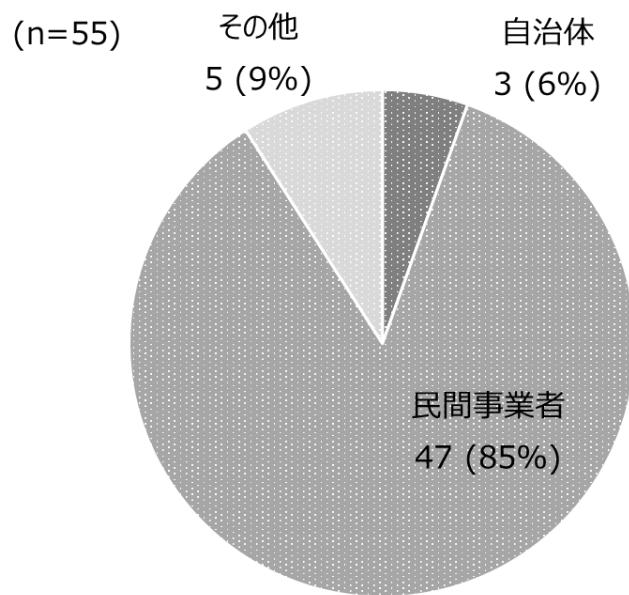
アンケート形式は、用紙記入、web記入の回答方法とした。

1.5. 回収状況

回答数：55件、回収率：54%

2. アンケート結果

1) アンケート回答者の所属区分

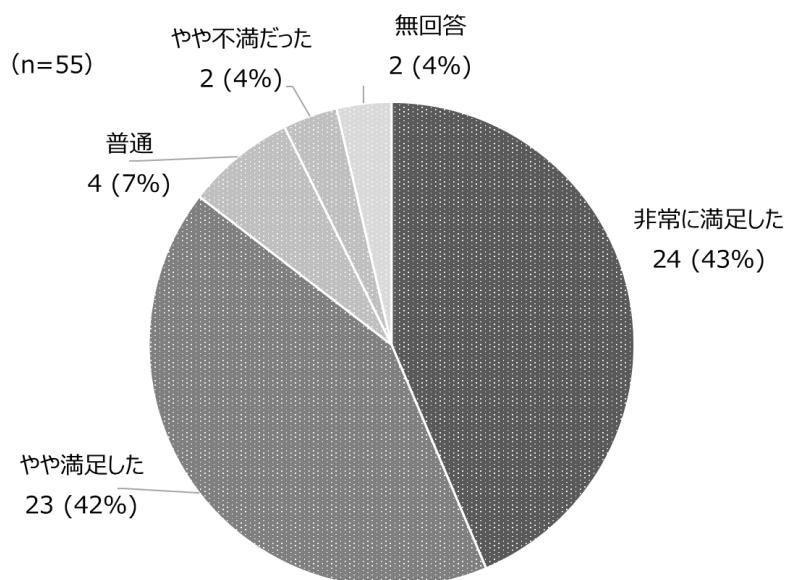


【その他の内容】

- ・ NPO 法人
- ・ 金融機関
- ・ 国機関（2件）
- ・ 環境省

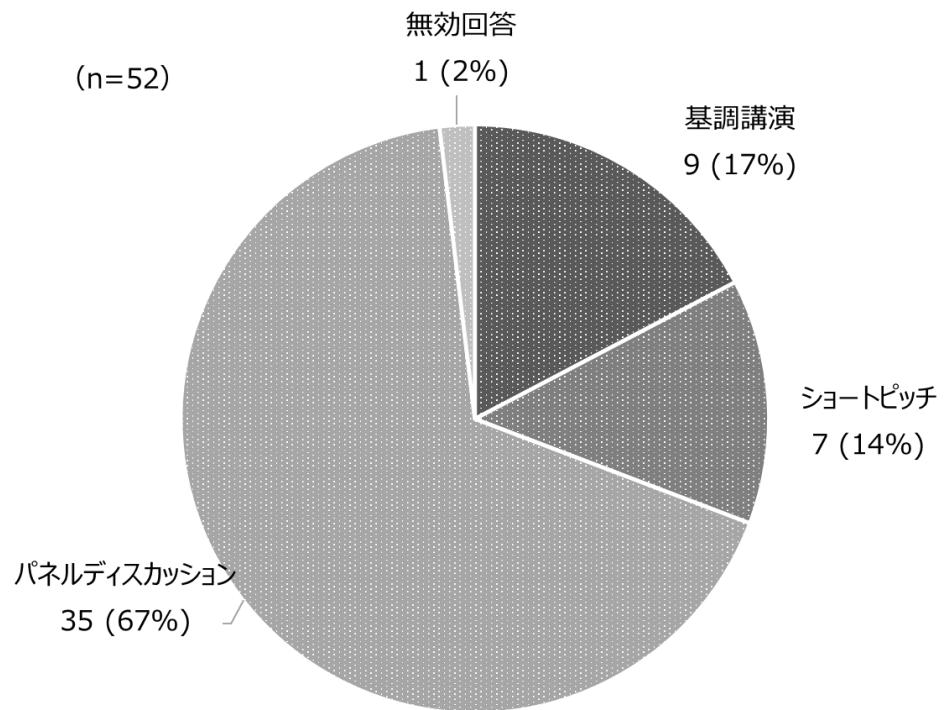
2) 今回の研究会に対する満足度を教えてください。

➤ 「非常に満足した」が最も多く、全体の 43% であった。また 85% が満足したと回答した。



3) 今回の研究会のうち、最も参考になった内容を1つ選択してください。

➤ 「パネルディスカッション」が最も多く全体の67%であった。



4) 上記の回答を選択した理由についてご記入ください。

- 各社のポイントがコンパクトに纏められていた。
- 各社の思いを聞いてとても良かったです。
- リアルな想いが聞けた。何をやるか。
- 今後提携・協力させていただけそうな会社が見つかったためです。
- 県内企業の脱炭素経営の詳細を学ぶことができたから
- 異業種間で情報交換出来た事で様々な気づきが生まれ刺激になった
- 実例を交えた3社3様のお話を聞くことができたため。
- 地元企業の先進的取組情報が知れた
- 一番身近に感じられる内容でした。
- パネリストの企業さまの取組について参考になりました。
- 様々な企業様の脱炭素の取組を伺うことができました。
- 各企業の脱炭素への取り組みや想いを知ることができたから
- どういった考え、思いを持って活動をされているのか参考になる。
- 脱炭素を実践できている会社の事例や取り組み状況を聞くことができた。
- 近々、ショートピッチを含むセミナーを開催するため
- サステナビリティの真意を知れた。

- 岡山の大手であるベネッセの取組、考え方を学べたことに加え豊泉さんの非常にエネルギッシュな姿に感銘を受けた。
- やはり投資回収の概念を抜きにして脱炭素は進まないと言う話に強く納得したため。
- より具体的な取組を聞けた。
- 脱炭素のための施策のヒントや脱炭素を事業の一環としてしている企業のことを知れたため
- 県内の先進的な企業がどのような取組みをしているのか勉強になったため
- 脱炭素の取組みとして投資には金のリターンを考えるのは大前提であるというところに対し、弊社として、どのような改善提案がお客様（企業様）によって有益になるか事例やデータを基に深めてまいりたいとあらためて認識いたしました。
- 各社のゼロカーボンに向けた方針、取り組み、考え方を知ることができたため。（各社とも先進的な取り組みをされているので、とても興味深かったです）
- お2人の発表、また西原さんのまとめが大変参考になりました。
- 民間の皆様も、脱炭素を手段として岡山を良くしたいと同じ方向を向いてくださっていることが分かり良かったです。
- 企業発表者と人脈を形成することができた。パネルディスカッションの進行が良い整理され、内容がわかり易かった。
- 地元への熱い気持ちが十二分に感じられた。
- how のいろいろを学べた。
- ベネッセの取組、サステナ活動をお聞きいただき感銘した。
- 脱炭素経営にどのように取り組んでいるか実例を聞けたこと
- 各社の取組事例を共有して頂いた事で自分の考え方を変えるきっかけになった。
- 理念から経営での具体
- 長年取り組まれた経験からの知見にリアリティがありました。
- 三者の発表において現実的な取組状況（各社）が参考になった。
- 岡山県内のジャンルの異なる企業の取組みを一度に聞けた。
- 今まで脱炭素は経済性を犠牲にした取り組みになると考えていました。経済合理性について考えると言う話をきけて良かった。
- 脱炭素の取り組みの中で、今変えていかないと未来の環境が無いという事が岡山で統一意識として芽生えていることなどすごく参考になった。答えが何か分からぬ中ですごく励みになりました。
- 弊社でも困っていたりお尋ねしたかったことが議論されていてためになりました。
- それぞれの会社の立場で脱炭素に取り組んだ動機・メリット・課題を知ることができた。
- 自社ができる活動に限りがあり、サプライチェーン全体で取り組んでいく必要を改めて強く感じました。

- 経営的観点での話を聞くことができた。
- 色んな視点の話が聞けた（大手、中小）、社員へ伝えるキーワードが学べた
- ゼロカーボンに向けて現場の現実と経験をのべられ、共感する所がありました。私の過去の思いをよりおこし、現事業の目的を再決意出来ました。
- 各パネリストの方が属する岡山を代表する企業がどの様な取り組みをしているか、今後どの様に取り組んでいこうとしているかを聞くことができ、非常に参考となつた。

5) ショートピッチ登壇者の中で、特に印象に残った企業を選択してください。（複数選択可）

単位(件)									
enechain	ゼロボード	スマーベンテナンスサポート	イースリー	ちゅうぎんエナジー	エナーバンク	カナメ	日本貨物鉄道	岡山ガス	バイウィル
8	8	8	9	19	5	17	17	18	11

6) 上記の回答を選択した理由についてご記入ください。

- 金属屋根の話が特に頭に残っています
- 設備工事会社として参考になった
- 屋根修繕によるサスティナビリティな補修、環境負荷の少ない運送が印象に残りました。
- 地元企業による脱炭素の中間支援
- 経済合理性と脱炭素が結びついてわかりやすかった。
- 遮熱シートや ZEB について検討はしたいと思っていたから。
- 自社との相性が良さそうで興味を持った
- 年間のエネルギーが減少するか、気になったため
- 壁面太陽光パネルや、輸送合理化に关心があるため。
- 当社ニーズの解決につながる内容だったため。
- 地域の脱炭素化に共感しました。
- かねてからの関心事項
- 当社の業務における課題点などの解決策の一つになると考えました。
- 事業とつながりそうです。
- 各社の方と人脈形成できた（今から名刺交換する予定）
- 過去関連性のあるビジネス
- 我々の事業の類似性が高く参考になった。
- 興味深いサービスを提供しているため
- 当社としても取組むべき課題であると感じた為
- 具体的な事例の課題が共感出来た。
- 登壇者リストを見た際になぜ JR 貨物？と思った分、話に興味が出た。

- モダールシフトの環境性について再発見できた。
- JRさんに物流部門で頑張ってほしいので貨物列車で脱炭素を実現してほしいです。
- 今すぐではないが近い将来実施していかなければならない内容が盛り込まれていた。
- 神社・仏閣専門の屋根改修等を行う企業の拠点が岡山にあることを初めて知ったため。
- 自社事業との関連が高いため。
- 可視化クラウドサービスの紹介、工場屋根改善～前職では経営者に工場屋根の改善を求めた為、良いサービスと思う。

7) 本日の研究会に関するご意見やご感想があればご記入ください。

- 地方拠点では、こういった機会が少ないので、次年度以降も継続してほしい。
- zoomが不安定で音声も聞き取りづらかったです。
- 異業種で様々な意見交換が出来、非常にためになった
- 基調講演とショートピッチ時に資料投影と音声が途切れたり、パネルディスカッション時に「マイク」の音声が途切れえて聞こえなかった部分が多くありました。
- 初めての参加ですが、思った以上に参加企業が多かった。岡山市が直接行わず委託しているから、なのか、中銀グループの力なのか横のつながりができれば良いなと思います。
- 今後も勉強が必要ですが、自分が知らなかつた知識を得ることが出来ました。
- 脱炭素というテーマを絞っていたことから分かりやすかったです。
- ゼロカーボンを口実にした異業種交流会？みたいでした。
- Webで参加させていただいたが音声が聴き取れない場面が多々あり少し残念でした。
- パネルディスカッションの時間がもっと長くても良かった
- お疲れさまでした
- たいへん勉強になりました。ありがとうございました。
- 皆さん壁を作らずオープンスタンスで参加されていて非常に良いイベントを感じた。
- とても有意義な内容でした。ありがとうございました。
- ぜひ次回はディスカッションの会ができればです。
- すばらしい取り組みだと思います。来年度もよろしくお願ひします。
- なぜ脱炭素なのか？我々は何をしないといけないのか？意見交換できたのはよかったです。
- 本日はありがとうございました。
- 引き続きゼロカーボン事業化に向けての充実させて下さい。
- 講演、ショートピッチ、パネルディスカッションと異なる形式で脱炭素について話

を聞くことができてよかったです。パネルディスカッションのパネリストの各社取組資料もあるとよりわかりやすいかと思いました。

- 岡山から世界を変えるくらいの気持ちで取り組めば山本選手のように何か結果を出せると思います。
- 会場の人同士が会話できるメニューがあればもっと良いのではと思った。
- 県内企業のリアルな声を聞けたのが良かったです。
- パネルディスカッションはとても参考になりました。
- パネルディスカッションのように中小で生かしやすい話が多いと脱炭素に取り組みやすいです。(まだ始めたばかりなので)
- 広島からまいりましたが、岡山市がCNの取組に良く力をここ程いれられているので、広島地域に訴求してまいりたい。

8) 今年度のゼロカーボン研究会は本日が最終回となります。今後の研究会に向けて、希望するテーマや内容、開催形式などについてご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

- 今回のように導入時の苦労や現在取り組んでいる内容にフォーカスした内容がよいです。音声環境を改善していただけたら幸いです。
- 定期的にまた脱炭素について開催してください。
- 研究会を通じて実現した成果を紹介する会があると良いと思います。
- 脱炭素と投資回収の両立についてもう少しクローズアップした内容を希望します。
- 行政の中小へのゼロカーボン誘導目標の企画、税制優遇、認証制度等が有れば良いと思う。
- 脱炭素がどのくらい貢献することができたかの実例を多く知ることが出来、投資費用や経済メリットも聞けるような場があればいいなと思います。
- 引き続き実施していただければ情報交換できてありがとうございます。
- リアルな場で交流もできると良いなと思いました。
- 自治体と民間、民間と民間が課題を共有でき、それを解決できる場となるよう引き続きよろしくお願いします。

以上